

第79回国スポ
スケート
アイスホッケー

第79回国民スポーツ大会冬季大会アイスホッケー競技会は3日、倉敷市のヘルスピア倉敷アイスアリーナなどで行われた。青森県勢は少年が初戦の準々決勝に臨み、6-1で滋賀に勝利。成年は東京にペナルティーシ

決定戦を行う。青森の少年は準決勝で大阪と対戦。成年は5-8位決定戦に臨む。

(千葉達也、桑田友人)
アイスホッケー

PSS戦で敗れ順位決定戦へ 武田主将「勝ちゲームだった」

成年

〇…前日に起こした逆戻りについて自軍に降りかかった劇が、今度は悪夢となった。成年の青森は残り38

▽成年準々決勝

東	京	4	2	0	1
1	P	2	0	1	0
1	0	S	1	0	2
		3			
		青			
		森			

▽得点者【東】山口2(P・S)床、大竹【青】最上、大久保魁2

【評】青森は第1ピリオド(P)早々に失点した後、最上、大久保が立て続けに決めて逆転。第3Pに同点とされるも、川岸潤のシュートのこぼれ球を大久保が押し込んで勝ち越す。しかし、残り38秒でキルプレー(数的不利)から失点し、PSSまで力尽きた。

秒で試合を振り出しに戻され、ペナルティーショットアウト(P)戦で屈した。武田裕大主将は「勝ちゲーム」と顔を上げた。

だった」と唇をかんだ。前回準優勝でスピードと技術のある東京に対し、青森は激しいチェックと連係の良さで対抗。中央を締めて相手の攻撃の芽を摘んだ。

1点リードで迎えた第3ピリオド(P)に一度同点とされたが、エース大久保魁斗が勝ち越し弾。最終盤のキルプレー(数的不利)で集中は切れていないように見えた。

ただ、「一瞬、ミドル(ゾーン)にパスコースが空いた」(武田主将)。土壇場で鋭いパスからネットを揺らされた。

2戦連続のPSS戦は6本全てのシュートを防がれて敗戦。武田主将は「強豪との力の差は詰められている。確実に5位を取って来年につなげた」と顔を上げた。

【東 京】 反補得 00100000011001000004
10000020000010000004
竹田野沼塚子 川田 藤 城部 田邊 田

【青 森】 反補得 00000000011001000003
00000002000010000004
武坂 武川 亀川 佐大前 蛸堀 最澤 三月 吉 岸 岸々々